



つぐみ

図書館だより 第11号
2024年2月29日
石巻商業高校 図書館



多読賞決定!

第1位	2年	78冊
第2位	2年	67冊
第3位	2年	66冊

第4位	2年	58冊	第8位	2年	26冊
第5位	2年	39冊	第9位	2年	20冊
第6位	1年	28冊	第10位	3年	16冊
第7位	1年	27冊	第10位	2年	16冊

(期間 2023年4月1日~2024年1月31日)

蔵書点検のお知らせ

3月に蔵書点検を行います。蔵書点検とは、図書館の本がきちんと棚にあるかどうか1冊1冊点検することです。本が借りられたままだと点検ができません。

借りたままの人は返却をするようお願いします。



2024年本屋大賞ノミネート作発表

2024年本屋大賞ノミネート作10作品が発表になりました。大賞発表は4月10日です。皆さんはどの作品が大賞に輝くと思いますか?ぜひ読んで予想してみてください。図書館になかった本も順次入荷予定です。



『黄色い家』(川上未映子)
『君が手にするはずだった黄金について』
(小川哲)
『水車小屋のネネ』(津村記久子)
『スピノザの診察室』(夏川草介)
『存在のすべてを』(塩田武士)
『放課後ミステリクラブ 1
金魚の泳ぐプール事件』(知念実希人)
『星を編む』(凧良ゆう)
『リカバリー・カバヒコ』(青山美智子)
『レーエンデ国物語』(多崎礼)
(作品名五十音順)

* 司書のひとりごと *

令和5年度読んだ本は2月の時点で78冊、記録カードは11枚でした。今年度の個人的なNo. 1は『心臓の王国』(竹宮ゆゆこ/著)・『存在のすべてを』(塩田武士/著)です。選びきれずNo. 1が2冊に…。どちらも読み応えのある作品でした。是非読んでみてください。



おめでとう 卒業

3年生の皆さんへ

皆さんは、3年間でどのくらい本を読みましたか。素敵な本との出会いはありましたか。お気に入りの1冊は見つかりましたか。石巻商業高校の図書館がそんな本との出会いの場であったのなら、とても嬉しいです。これから忙しくなり、本を読む時間が減ってしまうかもしれませんが、卒業してからも、みなさんがたくさんの素敵な本と出会えますように！！

新着図書案内



「*」マークがあるものは寄贈本です。

〇〇〇 総記

『若者の読書離れ』というウソ 中高生はどのくらい、どんな本を読んでいるのか (平凡社新書) 飯田一史/著

〔700 芸術〕

『氷の城壁 9』 阿賀沢紅茶/著

『税金で買った本 10』 ずいの/系山岡/著

『薫る花は凜と咲く 11』 三香見サカ/著

『大ピンチずかん 2』 鈴木のりたけ/著

〔800 言語〕

『4コマ仙台弁こけし 仙台宮城方言まるわかりBOOK』

j u g o/著 小林隆/監修

〔900 文学〕

『ともぐい』 河崎秋子/著

『東京都同情塔』 九段理江/著

『水車小屋のネネ』 津村記久子/著

『ブラック・ショーマンと覚醒する女たち』 東野圭吾/著

『八月の御所グラウンド』 万城目学/著

『成瀬は信じた道をいく』 宮島未奈/著

『すべての恋が終わるとしても 140字の忘れられない恋』 冬野夜空/著

〔文庫〕

『文豪ストレイドッグス 太宰を拾った日』 朝霧カフカ/著

*『龍神と許嫁の赤い花印 三』 クレハ/著

『魔王学院の不適合者 史上最強の魔王の始祖、転生して子孫たちの学校へ通う 13 (下) ~ 14 (下)』 秋/著

『花菱夫妻の退魔帖 三』 白川紺子/著

『Re : ゼロから始める異世界生活 36』 長月達平/著

司書の本棚(今月読んだ本の中から1冊紹介します)

『法廷遊戯』 五十嵐律人/著 講談社/刊

法曹の道を目指してロースクールに通う、久我清義と織本美鈴。二人の過去を告発する差出人不明の手紙をきっかけに不可解な事件が続く。清義が相談を持ち掛けたのは、異端の天才ロースクール生・結城馨。真相を追う三人だったが、それぞれの道は思わぬ方向に分岐して——？ (講談社HPより引用)

著者のデビュー作。法律を知らなくても話が理解でき、とにかく先が気になりました。事件の結末からいろいろと考えさせられる作品でした。

